

Abstract: 自然言語処理は、人工知能研究の一分野の名称であり、また、人間が扱う「言葉」を対象に、主に文章の理解や生成などを計算機により自動的に実行する技術の総称です。自然言語処理の典型的な応用タスクとしては、例えば、機械翻訳、質問応答/文書検索、自動対話システム、文章校正、文書要約、小論文の筆記自動採点、オピニオンマイニング、文書/意見分類などがあります。

自然言語処理技術は、1990年代後半以降から統計的手法に基づく方法論が主流となり、2013年あたりから深層学習に基づく方法論が徐々に研究されるようになりました。現在は大規模データと深層学習を用いて構築されたニューラル言語モデルを中心とした方法論が全盛期を迎えています。本講演では、過去の歴史を参照しつつ、ニューラル言語モデルに基づく自然言語処理について基本的な概念や理論などを簡単に説明し、その活用法や利用時の注意点などを中心に紹介していきたいと思います。また、時間があれば最新の研究動向や研究成果についてもいくつか紹介します。